

学校教育目標	夢を追い、自らを高めよ ー学べ・磨け・輝けー
目指す学校像	○生徒と教師の笑顔があふれる学校 ○居場所のある学校

重点目標	1 「学び方」「教え方」を両輪とした授業改革でエージェンシーを育成 2 「寄り添い 導き 見届ける」教育の実践と一人ひとりのWell-beingの実現 3 地域に愛され、地域と共に成長し、地域に貢献できる生徒の育成 4 生徒一人ひとりが安心して生活できる教育環境の整備の推進 5 生徒一人ひとりの可能性を引き出す多様な専門性を備えた質の高い教職員の育成と積極的な働き方改革の推進
------	---

※重点目標は6つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校自己評価					学校運営協議会による評価		
年度目標					年度評価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査(R7)では、国語・数学とも全国平均を上回った。 ○市学習状況調査(R7)では、どの教科も市平均を下回った。 ○学習状況や学習量をデータ化し、視覚的に共有を図ることで、学習に取り組む姿勢に変容が見られた。 (課題) ○知識・技能の定着が不十分な点が見られ、家庭学習を含め学習の習慣化が必要である。 ○自己課題をもち自主的に学習しようとする姿勢を今後も高める必要がある。	学習習慣の定着	①全ての授業において、生徒に対する本時の目標の確認と振り返りの時間を確実に設定する。(通年) ②「学びのポイント」を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した授業実践を行う。 ③タブレット端末を利用した新たなドリル学習の効果的な活用方法等について検討する。	①学校評価(生徒)「自らすすんで学習」の肯定的な回答は80%以上となったか。(R7_73%) ②学校評価(生徒)「学校や家庭で、自分に合った学習方法を見つけられている」の肯定的な回答は80%以上となったか。(R7_75%) ③学校評価(保護者)「お子様は、自らすすんで学習に取り組んでいる」の肯定的な回答は70%以上となったか。(R7_67%)			
		学習意欲の向上を目指した授業改善	①「学びの指標」を活用して、「育てたい資質・能力」に関連した単元を通して、生徒の主体性を育む授業実践を行う。 ②全国・市調査等の各種データを分析し、具体的な学力向上策を検討し、生徒への具体的な学習アドバイスにも活かす。	①「学びの指標」アジェンダにおける「主体的な学び」の数値が3.4ポイント以上となったか。(R7_3.26%) ②教育データの利活用による「学習カウンセリング」体制を構築し、生徒への学習アドバイスに活かすことができたか。			
2	(現状) ○市学習状況調査(R7)「学校に行くのは楽しいですか」に対する肯定的な回答は、市平均を4%以上上回っている。 ○学校評価(生徒)「学校生活は楽しく充実の「そう思う」の割合は72%であった。 ○市学習状況調査(R7)「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」に対する肯定的な回答は、市平均を4%以上上回っている。 ○学校評価(保護者)「お子様は、自分の感情をコントロールしつつ、自律的に活動」の肯定的な回答は77%であった。 (課題) ○自分で考え、判断し行動したり、自分から悩み事を相談したりすることに対して積極的に行動できない生徒が少ない。	生徒一人ひとりの自己肯定感を高める教育の推進	①学級活動、生徒会活動、学校行事等において、話し合い活動を通して、生徒自身が決めた内容を積極的に取り入れながら、生徒に達成感や充実感を味わわせるようにする。 ②積極的な生徒指導・教育相談を心掛け、生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細やかな指導を行う。	①学校評価(生徒)「学校生活は楽しく充実」の「そう思う」の割合は80%以上となったか。(R7_72%) ②市学習状況調査「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」に対する肯定的な回答は昨年度同等以上となったか。(R7_95.8%)			
		生徒が安心して学べる教育環境の充実	①毎日のやり取り帳、心と生活のアジェンダやスクールダッシュボード等を活用し、生徒理解に努める。 ②教育相談体制の充実と関係機関等との連携、Solaの一むの活用を図りながら、生徒の実態や保護者の要望も踏まえながら適切な支援を行う。	①学校評価(教職員)「『心と生活のアジェンダ』を生徒の心の状態の早期発見、早期対応に生かす」の評価点3.5以上となったか。(R7_3.05) ②学校評価(保護者)「お子様は、自分の感情をコントロールしつつ、自律的に活動」の肯定的な回答は80%以上となったか。(R7_77%)			
3	(現状) ○市学習状況調査(R7)「ボランティア活動に参加したことがありますか」に対する肯定的な回答は、市平均を3%下回っている。 ○学校評価(生徒)「ボランティア活動に参加したことがあります」の割合は35%であった。 ○市学習状況調査(R7)「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いませんか」に対する肯定的な回答は市平均を5%上回っている。 <課題> ○生徒が自発的なボランティア活動への参加を促すため方法を工夫改善する必要がある。	地域と関わる具体的な取組の実施	①ボランティア活動等への生徒の参加を促す啓発活動の実施。 ②学校地域連携コーディネーターを核とした地域交流及び地域貢献活動を実施する。	①学校評価(生徒)「ボランティア活動に参加したことがあります」の割合は40%以上となったか。(R7_35%) ②学校地域連携コーディネーターを核とした地域交流及び地域貢献活動を実施することができたか。			
		課題解決のための話し合い及び情報発信	①学校運営協議会において、生徒を地域で活躍させる方策について熟議を行う。 ②生徒のボランティア活動の様子をHPや学校だより等による情報発信を通して、本校のPRを積極的に進める。 ③学校運営協議会において、代表生徒による「意見表明」等の場を設ける。	①生徒を地域で活躍させる方策について熟議を行うことができたか。 ②学校評価(保護者)「積極的な学校教育に関する情報提供」の「そう思う」の割合は50%以上となったか。(R7_33%) ③生徒による「意見表明」を行うことができたか。			
4	(現状) ○学校評価(保護者)「安心・安全な生活環境を提供」の「そう思う」の割合は30%であった。 ○各教科が希望している備品・消耗品の購入に十分対応できていない。 <課題> ○修繕に十分な対応ができていない箇所がある。 ○定期的な安全点検に加え、事故を未然に防ぐ視点をもった危機管理意識を高めていく必要がある。 ○デジタル化の進展の一方で、紙類等の消費量が十分削減されていない。	安心で安全な施設管理	①安全点検を毎月確実に実施し、迅速な対応を行う。特に、学習環境に影響を与える可能性のある不具合発見時には関係課等と連携して対応する。 ②管理職校内巡視を通して、事故の未然防止の視点で修繕等を実施する。	①学校評価(保護者)「安心・安全な生活環境を提供」の「そう思う」の割合は50%以上となったか。(R7_30%) ②修繕の必要な箇所について、速やかに対応することができたか。			
		適正な予算の管理	①予算の執行状況等について情報共有を図り、予算の適正かつ有効な活用を行う。 ②より良いICT環境を構築と「スクリーン」アプリを活用した印刷物の削減	①学校評価(教職員)「学校備品の購入・廃棄の適切な実施」の評価点は3.6%以上となったか。(R7_3.42) ②学校評価(教職員)「学校配当予算の有効活用」の評価点は3.8以上となったか。(R7_3.67)			
5	(現状) ○ICT機器担当をはじめ、一部の分掌への業務の偏りが見られ、ストレスチェック分析結果「仕事の量的負荷・コントロール」における健康リスク値が決して低いとは言えない状況である。 ○「学びのポイントの意識度」を日常的に意識している教職員の割合が高くない。 (課題) ○業務量の適正化等働きやすい職場環境をより構築する必要がある。 ○ICTをより積極的に授業において活用していく必要がある。	働きやすい職場づくりの推進	①デジタル採点ツール等、学校DXを積極的に推進し、業務に係る時間の削減を行う。 ②業務分担量や時間外勤務時間の削減に向け、具体的な方策を実行する。	①②ストレス集団分析結果「仕事の量的負荷・コントロール」における健康リスク値を昨年度より減少したか。(R7_男女とも103)			
		教職員一人ひとりに応じた研修の奨励	①「学びのポイントの意識度」をAとするための方策を確認し、受講奨励を通して、各種研修会への参加について指導・助言を行う。 ②校外の研究発表等への全教員の参加、「相互授業観察」を確実に実施し、各々の授業改善に活かせるようにする。	①学びの指標「学びのポイントの意識度」(教職員)Aとする割合は30%以上となったか。(R7_8.3%) ②校外の研究発表会に全教員が参加できたか。また、「相互授業観察」を通して、個々の教員が授業改善を図る子yとができたか。			

学校運営協議会による評価
 実施日 令和 年 月 日
 学校運営協議会からの意見・要望・評価等